

## 令和5年度第4回静内警察署協議会議事概要

- 第1 開催日時  
令和6年3月15日（金）午後1時30分から午後2時30分までの間
- 第2 開催場所  
札幌方面静内警察署 会議室
- 第3 出席者
- 1 協議会委員（7人）  
協議会会長 福原啓介  
協議会副会長 竹内幸子  
委員 戸澤ひとみ 徳橋かおる 山田久麿  
馬場欣治 山本恵美子
- 2 警察署職員（6人）  
警察署長 千葉則幸  
副署長 岩原勝樹  
警務課長 渡辺昭一  
刑事・生活安全課長 岡本伸作  
地域課長 近藤謙作  
交通課長 山田宏樹
- 第4 開催状況
- 1 署長挨拶  
令和5年に交通事故で亡くなられた方は131人であり、そのうち65歳以上の高齢者が58人と全体の約44%を占めています。  
静内警察署管内では、死亡交通事故の発生はありませんが、高齢者が第一当事者となる人身交通事故は発生全体の約半数を占めています。  
これからは春を迎え活動が活発となり、交通量も増える時期となります。  
その中で、高齢者の交通事故をどうやって防ぐかを協議していただいて、静内警察署の活動に反映させていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
- 2 会長挨拶  
本日の諮問事項である高齢者の交通事故防止について、委員の皆さんから活発な意見を出していただき、警察署の活動に役立ててもらいたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
- 3 業務説明  
令和6年1月から3月までの活動状況
- 4 諮問事項
- (1) テーマ  
高齢者の交通事故防止対策
- (2) 警察からの説明  
高齢者による交通事故概況  
・ 高齢運転者（第一当事者）の交通事故実態  
・ 高齢歩行者の交通事故実態  
・ 警察署での各種取組
- (3) 協議
- ア 委員  
先日、親戚が救急車で運ばれた時に病院まで運転したのですが、親戚を心配する気持ちが強く、平常心でないことに気づきました。  
そういう時こそ、気持ちを切り替えて運転に集中することが大事だと感じました。
- イ 委員  
周囲に高齢者の交通事故に関して、「あなたならどう考えますか。」と聞いてみたところ、昔は若い人が多く、逆に高齢者が少なく高齢者が運転する車も少なかったが、今は高齢者が多くなってきたため、交通事故の当事者となる割合も増加すると答えていました。  
高齢化社会の中で運転免許証の自主返納も大きな効果があると思っておりますが、私の周囲を見ると、  
・ 自分で考え、家族にも相談して運転免許証を返納した人  
・ 家族の言うことも聞き入れずに、運転免許証の返納を全く考えない人  
と様々です。  
また、  
・ 不自由ではあるものの、家族の協力などで生活に支障ない人  
・ 家族に迷惑を掛けたくないため運転免許証を返納しない人  
など家族の協力の有無など環境の違いもあると思っております。  
私自身、60歳を過ぎた頃から、自分が運転免許証を返納した場合、その後、どう生活できるかを考えました。  
運転免許証の返納に関しては、高齢になってから考えるのではなく、事前に考えておくように広報することが大事だと思います。

- ウ 委員  
運転の際に、高齢者マークを付けている車や高齢歩行者を見かけた場合は、高齢者が予想もつかない行動をした場合でも対処できるように気を付けています。  
高齢者だけでなく、運転者に注意を払わせるような取組も必要だと思います。
- エ 委員  
反射材を身につけることや運転免許証の自主返納、身体能力の低下を理解させる教育など、これまでも高齢者への取組は推進しているので、これらを更に徹底させるための啓発を続けていくことが大事だと思います。
- オ 委員  
警察署の説明を聞いて、いろいろな取組を推進していることがわかりました。  
高齢者に身体能力の低下を理解させたり、運転免許証の自主返納を促すには、お孫さんから声を掛けてもらうと効果があると思います。  
そのために、学校での講話等の機会に子供に呼びかけるなど、学校に協力をお願いをしてみたいかでしょうか。  
また、目に触れるような広報を推進することも必要だと思います。
- カ 委員  
警察署の説明を聞いて、交通安全教育、交通安全啓発、運転免許証の自主返納、SDSプログラムなど、いろいろな取組を推進していることがわかりました。  
運転免許証を自主返納した人は、行動範囲も狭くなり、不自由になることもあると考えます。  
私は、高齢者クラブとのかかわりがありますので、警察官の講話を聞く機会もあり大変勉強になってますので、高齢者には注意するように声掛けするようにしています。  
警察署には、今後も継続した啓発活動に取り組んでもらいたいです。  
また、これからの時期は、自転車を利用する高齢者も増えますが、まだ、ヘルメットを着用していない高齢者が多いので、注意してもらいたいです。
- キ 委員  
警察官が交通事故を起こした高齢者の自宅まで行き、家族を含めて話をしていると聞き、そこまでの取り組んでいることを初めて聞きました。  
どうしても交通の便が悪い地域は、車に頼らなければ生活が不自由となるので、運転免許証の返納に納得しない高齢者もいるかと思いますが、継続して取り組んでもらいたいです。  
よく高齢者が運転する車がコンビニなどに突っ込んだというニュースがありますが、それは古い車で、現在の車は高齢者対策も進んでいますので、普及すれば高齢者が起こす交通事故は減ると思います。
- ク 委員  
運転中は、スマートフォンをドライブモードにするなど、運転に集中させるための広報も必要だと思います。
- ケ 委員  
運転免許証を自主返納した高齢者に自治体等から特典が出るなどの取り組みをすれば、返納する高齢者も増えるのではないのでしょうか。
- コ 警察  
本日、委員の皆様からいただいたご意見は、今後の活動の参考とさせていただきます。

第5 次回開催予定  
令和6年6月中を予定

第6 閉会

令和 年 月 日

㊟

令和 年 月 日

㊟